

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	荒川区 荒川区長 西川 太一郎				
事業者番号	A	0	9	4	0

2 報告する事業所等の全体の状況(2019年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	39	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	3,981	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	1	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	29	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	7,800	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所

評価対象事業所	義務提出事業所	全事業所
---------	---------	------

5 評価対象事業所における直近5か年度の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
合計二酸化炭素排出量	7,340.00	8,364.00	9,313.00	9,059.00	7,743.00	t
合計延床面積	106,317.16	119,429.88	128,398.02	122,957.52	109,544.42	m ²
合計原単位	69.03871	70.03272	72.53227	73.67585	70.68365	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-1.34	%
平均合計原単位改善率	-0.59	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	ランク
---------------------	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	目標達成した。
------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有	無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	2
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	<p>区の組織一丸となって、環境政策を計画的、継続的に推進します。環境に関する全ての法令を遵守し、環境の保全に積極的に取り組みます。省エネルギー対策や資源の再利用・リサイクルなど、温室効果ガスの削減をはじめとする環境に配慮した活動を行います。区の施設に、再生可能エネルギーや省エネルギー機器など環境に配慮した設備などを導入し、率先して環境負荷の軽減に努めます。具体的かつ実効性のある環境目標を定め、定期的に見直しを図るとともに、環境マネジメントシステムの活用を通じて、環境配慮率先行動の改善を継続的にを行います。区民、事業者、行政が一体となった環境政策を推進します。</p>			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
	A105	取組内容や点検体制の定期的改善	A102	温暖化対策推進担当の配置
	A108	組織横断的な推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定
	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A307	組織横断的な推進体制の整備	A110	外部専門家への相談依頼の実施
		A113	推進担当者の知識向上・内部還元	

12 特記事項

<p>荒川区では、「エコアクション21」の認証・登録へ10年間継続して取り組んできたノウハウを活かし、平成27年12月より、区独自の環境マネジメントシステム「あらかわEMS」の運用を開始した。各部から推薦された環境推進員による内部監査を実施することで、区組織全体におけるエネルギー使用の効率化を進めている。また、「荒川区役所エコアクティブプラン」を平成30年度に改定し、温室効果ガス総排出量を、区役所全体で令和9年度までに平成25年度比で32.8%以上削減するという目標を設定し、毎年度達成状況を検証している。組織体制としては、区長を本部長とする「荒川区環境先進都市推進本部」を設置し、各課に環境推進委員（課長）、環境推進員（係長）を選任し、組織横断的な取り組みを行っている。個別対策としては、区有施設の新築・大規模改修工事時に最高水準の省エネ・再エネ仕様で整備し、電力使用量とCO2排出量の削減に向けた取り組みを強化するため、平成24年3月に「荒川区公共施設環境配慮指針」を改正した。その他、クールビズ・ウォームビズの実施、環境推進員向け研修会の実施、省エネ管理システムの導入、環境内部監査の実施等の取り組みを強化している。</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	本庁舎(管理部 経理課)										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川2-2-3									
事業所等の延床面積	16,770.10		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	507	kl	
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	984	t	
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	13	t
	総計(= +)	997	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	58.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	142,452.0	45.00	6,410.3	0.014	319.7	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(A重油)	L	364.0	39.10	14.2	0.019	1.0	
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,358,224.0	9.76	13,256.3	0.489	664.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					19,680.8		984.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	19,119.0			0.251	4.8	
	公共下水道	m ³	19,119.0			0.439	8.4	
合計							13.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C508	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

教育委員会事務局部分含む

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北庁舎(健康部 生活衛生課)										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川2-11-1									
事業所等の延床面積	1,974.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	63	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	123	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	1	t
	総計(= +)	
	124	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	62.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	2.9	45.00	0.1	0.014	0.0
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	252,757.0	9.76	2,466.9	0.489	123.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,467.0		123.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	2,234.0			0.251	0.6
	公共下水道		m ³	2,234.0			0.439	1.0
合計							1.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

生活衛生課、保健予防課、施設管理課、道路公園課、防災街づくり推進課、都市計画課、建築指導課

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荒川区がん予防・健康づくりセンター										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	0	3	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川2-12-5									
事業所等の延床面積	4,420.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	122	kl	
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	236	t	
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	237	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	53.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	25,996.2	45.00	1,169.8	0.014	58.3	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	364,927.0	9.76	3,561.7	0.489	178.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					4,731.5		236.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,870.0			0.251	0.7	
	公共下水道	m ³	2,870.0			0.439	1.3	
合計							2.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

健康推進課

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	分庁舎											
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	0	4		
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区	
	町名番地以下	荒川2-25-3										
事業所等の延床面積	1,382.50	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有									
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)					
報告範囲の主たる用途	事務所 工場		商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他					
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置				低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	42	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	81	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	81	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	58.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	113.1	45.00	5.1	0.014	0.3	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	166,895.0	9.76	1,628.9	0.489	81.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,634.0		81.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	559.0			0.251	0.1	
	公共下水道	m ³	559.0			0.439	0.2	
合計							0.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

防災課と生活安全課の合算値

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	清掃リサイクル事務所(環境清掃部 清掃リサイクル推進課)										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	1	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	町屋5-19-1									
事業所等の延床面積	1,818.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	54	kl	
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	105	t	
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	109	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	57.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	28,021.4	45.00	1,261.0	0.014	62.9	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	87,541.0	9.76	854.4	0.489	42.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,115.4		105.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	6,455.0			0.251	1.6	
	公共下水道	m ³	6,455.0			0.439	2.8	
合計							4.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

清掃リサイクル推進課と清掃リサイクル事務所の合算値

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町屋文化センター・ACC										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	1	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	町屋7-20-1									
事業所等の延床面積	2,400.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	80	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	155	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	155	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	64.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	318,582.0	9.76	3,109.4	0.489	155.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,109.4		155.8	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,216.0			0.251	0.3	
	公共下水道	m ³	1,216.0			0.439	0.5	
合計							0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

町屋文化センター及びACC事務局

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日暮里サニーホール									
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	1	6
事業所等の所在地	〒 1 1 6 - 0 0 1 4 区市町村名 荒川区									
	町名番地以下	東日暮里5-50-5								
事業所等の延床面積	2,311.28 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有		他者所有							
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場		商業施設(物販) 複合施設			商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	2	2	連鎖化事業区分	直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	117	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	227	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	1	t
	総計(= +)	
	228	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	98.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	23,311.8	45.00	1,049.0	0.014	52.3	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	358,577.0	9.76	3,499.7	0.489	175.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					4,548.7		227.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,804.0			0.251	0.5	
	公共下水道	m ³	1,804.0			0.439	0.8	
合計							1.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ムーブ町屋										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	1	7	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川7-50-9 センターまちや3F,4F									
事業所等の延床面積	2,796.90		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	2	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	121	kl	
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	236	t	
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	1	t
	総計(= +)	237	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	84.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	6,061.9	45.00	272.8	0.014	13.6	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	455,470.0	9.76	4,445.4	0.489	222.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					4,718.2		236.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,451.0			0.251	0.4	
	公共下水道	m ³	1,451.0			0.439	0.6	
合計							1.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

就労支援課との合算値

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町屋在宅高齢者通所サービスセンター										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	4	0	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	1	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	町屋7-2-15									
事業所等の延床面積	912.17		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	3	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	47	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	92	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	2	t
	総計(= +)	
	94	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	100.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	9,232.5	45.00	415.5	0.014	20.7	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	146,446.0	9.76	1,429.3	0.489	71.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,844.8		92.3	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,107.0			0.251	0.8	
	公共下水道	m ³	3,107.0			0.439	1.4	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	障害者福祉会館										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	4	3	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川2-57-8									
事業所等の延床面積	1,482.08	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場		商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置				低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	47	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	92	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	92	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	62.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	176.9	45.00	8.0	0.014	0.4	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	188,564.0	9.76	1,840.4	0.489	92.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,848.3		92.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,019.0			0.251	0.3	
	公共下水道	m ³	1,019.0			0.439	0.4	
合計							0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	汐入ふれあい館										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	8	7	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	3	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	南千住8-2-2									
事業所等の延床面積	1,237.38		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満	
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	46	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	91	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	91	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	73.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	13,604.7	45.00	612.2	0.014	30.5	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	123,789.0	9.76	1,208.2	0.489	60.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,820.4		91.1	
その他	水道及び工業用水道	m ³	640.0			0.251	0.2	
	公共下水道	m ³	640.0			0.439	0.3	
合計							0.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	男女平等推進センターアクト21										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	9	2	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	1	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	東尾久5-9-3									
事業所等の延床面積	1,468.65	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場		商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	47	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	92	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	92	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	62.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	66.7	45.00	3.0	0.014	0.1	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	189,135.0	9.76	1,846.0	0.489	92.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,849.0		92.6	
その他	水道及び工業用水道	m ³	1,328.0			0.251	0.3	
	公共下水道	m ³	1,328.0			0.439	0.6	
合計							0.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

熊野前ひろば館。熊野前学童クラブ分含む

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	9	3	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	3	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	南千住6-36-5									
事業所等の延床面積	4,181.91		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	200	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	389	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	9	t
総計(= +)	398	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	93.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	51,923.9	45.00	2,336.6	0.014	116.5	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	558,622.0	9.76	5,452.2	0.489	273.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					7,788.7		389.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	13,479.0			0.251	3.4	
	公共下水道	m ³	13,479.0			0.439	5.9	
合計							9.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E141	太陽光発電設備の導入
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	9	4	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川5-47-2									
事業所等の延床面積	3,840.47		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場		商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置				低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	196	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	381	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	11	t
	総計(= +)	
	392	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	99.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	76,604.5	45.00	3,447.2	0.014	171.9	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	427,621.0	9.76	4,173.6	0.489	209.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					7,620.8		381.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	16,618.0			0.251	4.2	
	公共下水道	m ³	16,618.0			0.439	7.3	
合計							11.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	0	9	9	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	1	1	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	西尾久6-17-3									
事業所等の延床面積	1,072.23	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有		他者所有								
報告範囲	建物の全部		建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場		商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	3	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置		低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	32	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	63	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	1	t
	総計(= +)	
	64	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	58.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	7,510.9	45.00	338.0	0.014	16.9	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	96,155.0	9.76	938.5	0.489	47.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,276.5		63.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,252.0			0.251	0.6	
	公共下水道	m ³	2,252.0			0.439	1.0	
合計							1.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	1	0	0	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	1	4	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	東日暮里3-8-16									
事業所等の延床面積	2,038.53		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	37	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	73	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	1	t
	総計(= +)	
	74	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	35.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	9,352.4	45.00	420.9	0.014	21.0	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	106,859.0	9.76	1,042.9	0.489	52.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,463.8		73.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,471.0			0.251	0.6	
	公共下水道	m ³	2,471.0			0.439	1.1	
合計							1.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	特別養護老人ホームサンハイム荒川										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	1	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	3	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	南千住3-14-7									
事業所等の延床面積	3,804.66		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	204	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	397	t
二酸化炭素排出量	7	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
総計(= +)	404	t
二酸化炭素排出原単位	104.3	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	44,291.2	45.00	1,993.1	0.014	99.4	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	608,988.0	9.76	5,943.7	0.489	297.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					7,936.8		397.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	11,502.0			0.251	2.9	
	公共下水道	m ³	11,502.0			0.439	5.0	
合計							7.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南千住保育園										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	1	0	7	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	3	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	南千住6-35-3									
事業所等の延床面積	1,720.66		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	69	kl
二酸化炭素排出量	134	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	134	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
総計(= +)	136	t
二酸化炭素排出原単位	77.8	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	77.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	274,048.0	9.76	2,674.7	0.489	134.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,674.7		134.0	
その他	水道及び工業用水道	m ³	3,774.0			0.251	0.9	
	公共下水道	m ³	3,774.0			0.439	1.7	
合計							2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E141	太陽光発電設備の導入
			E124	更新に合わせた高効率機器の採用	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

南千住第一・第二学童クラブ分含む

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	峡田ふれあい館										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	1	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	0	2	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	荒川3-3-10									
事業所等の延床面積	1,767.90		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	46	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	89	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	89	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	50.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	183,359.0	9.76	1,789.6	0.489	89.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,789.6		89.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	794.0			0.251	0.2	
	公共下水道	m ³	794.0			0.439	0.3	
合計							0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

峡田学童クラブ分含む

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	尾久ふれあい館										
事業所番号	A	0	9	4	0	-	0	1	1	3	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	0	0	1	1	区市町村名	荒川区
	町名番地以下	西尾久2-25-13									
事業所等の延床面積	2,223.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	再生可能エネルギー発電設備の設置			低炭素電力の受入				証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	45	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	88	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	
	0	t
	総計(= +)	
	88	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	
	39.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000)×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0				
	その他()			0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	180,419.0	9.76	1,760.9	0.489	88.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,760.9		88.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	871.0			0.251	0.2	
	公共下水道	m ³	871.0			0.439	0.4	
合計							0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000)× とする。

2 =(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 =(/1,000)× とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
			B102	関連他者からの情報を加えて把握	
			B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C502	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C109	空室・不在時等の空調停止
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E141	太陽光発電設備の導入
			E124	更新に合わせた高効率機器の採用	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項